

令和2年度

第1回 栄区セーフコミュニティ推進協議会
災害安全対策分科会

書面により開催

報 告

- 1 令和元年度地域防災拠点訓練実施状況について

議 題

- 1 セーフコミュニティ災害安全対策分科会からの提言について

※次回分科会は令和2年10月頃を予定しています。

令和2年度 災害安全対策分科会委員名簿

所 属		氏 名	役 職
座長	栄区連合町内会	磯崎 保和	栄区連合町内会長
副座長	栄区地域防災拠点 運営委員会連絡協議会	毛利 勝男	栄区地域防災拠点 運営委員会連絡協議会会長
	栄区地域防災拠点 運営委員会連絡協議会	加藤 重雄	栄区地域防災拠点 運営委員会連絡協議会副会長
	栄消防団	加藤 正基	副団長
	栄火災予防協会	角田 宏子	会長
	栄火災予防協会	小石 榮美	副会長
	栄区自衛消防隊連絡協議会	武田 政美	住友電工株式会社 横浜製作所
	栄区社会福祉協議会	小林 朋子	事務局長
	栄区小学校長会	福嶋 圭輔	本郷小学校校長
	栄区中学校長会	佐藤 典之	飯島中学校校長
事務局		小泉 信義	栄区副区長
		伊藤 ゆかり	栄区総務課長
		御所脇 佑介 山口 裕司	危機管理担当係長
		大野 和義	福祉保健課事業企画担当係長
		大谷 雅弘	栄土木事務所管理係長
		牧野 豊	栄消防署予防課長

※敬称略

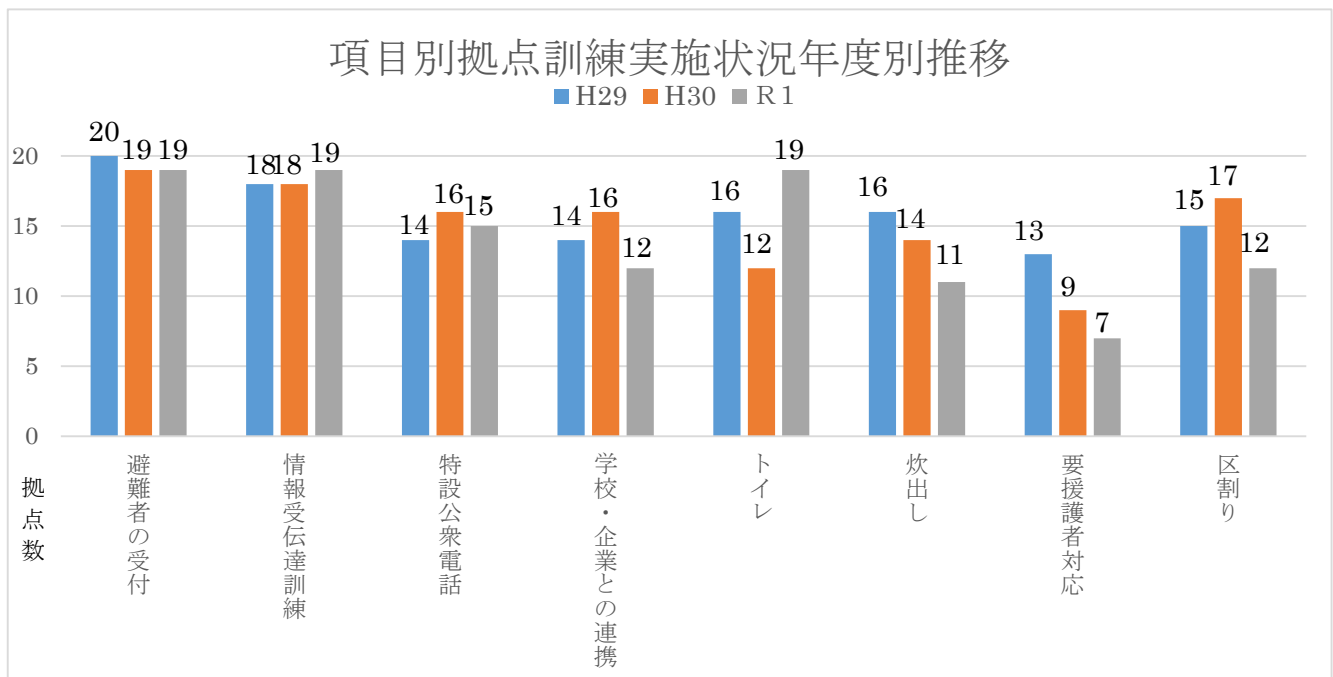
報告 1

令和元年度地域防災拠点訓練実施状況について

災害安全対策分科会においては、地域防災拠点における訓練について、「防災訓練」から拠点の開設・運営に焦点を当てた「拠点運営訓練」へのシフトを推進しております。

令和元年度、災害安全対策分科会では避難者受付訓練とトイレ対策の推進に特に力を入れ、各拠点に2つの項目を訓練の必須項目として実施をお願いしていました。2つの項目の訓練はどちらも高い実施率を記録しており、各拠点での意識の向上が見受けられます。

その他の項目の訓練についても計画的に訓練が行われるよう支援を検討していきます。



※詳細は、別紙1「令和元年度地域防災拠点訓練実施状況」参照

【参考】

●防災訓練とは

主にAED訓練や初期消火訓練、煙体験など自助共助の観点からの訓練

●拠点運営訓練とは

上記の表に示した項目のような、円滑な地域防災拠点運営に関わる訓練

令和元年度 地域防災拠点訓練実施状況

拠点名	避難者の受付	情報受伝達訓練	特設公衆電話	学校・企業との連携	トイレ	炊出し	要援護者対応	区割り	その他特徴ある訓練
千秀小学校	○	○	○	○	○	○	○	○	負傷者搬送訓練
豊田小学校	○	○	○	○	○	○	○		夜間対応訓練
飯島中学校	○	○	○	○	○	○			
飯島小学校	○	○	○		○			○	
小菅ヶ谷小学校	○	○	○	○	○	○			夜間対応訓練 負傷者搬送訓練
本郷台小学校	○	○	○	○	○			○	ペット同行避難訓練
笠間小学校	○	○	○	○	○	○		○	
西本郷中学校	○	○	○	○	○		○	○	HUG訓練
西本郷小学校	○	○			○	○	○	○	夜間対応訓練 ペット同行避難訓練
小山台小学校	○	○	○	○	○				ペット同行避難訓練
本郷中学校	○	○			○		○	○	
公田小学校	○	○		○	○	○		○	
桂台小学校	○	○			○	○			ペット同行避難訓練
桂台中学校	○	○	○	○	○				負傷者搬送訓練
桜井小学校	○	○	○		○			○	
上郷小学校	○	○	○		○			○	
庄戸小学校	○	○	○		○	○	○	○	ペット同行避難訓練
旧庄戸中学校	○	○	○	○	○	○	○	○	dig訓練、夜間対応訓練 負傷者搬送訓練、ペット訓練
旧野七里小学校	○	○	○	○	○	○			負傷者搬送訓練

議題 1

栄区地域防災拠点運営委員会会長 各位

セーフコミュニティ災害安全対策分科会

セーフコミュニティ災害安全対策分科会からの提言について

セーフコミュニティ災害安全対策分科会では、令和元年度に災害安全対策の課題と取組について整理を行い、具体的な取組内容を示し、課題について取り組んできました。

引き続き、今年度も課題に対する取組を推進していきますので、以下の項目についてご協力を頂けるようお願い申し上げます。

1 今年度の災害安全対策分科会の課題と取組の概要について（昨年度から継続）

(1) 家庭における災害対策の課題 **自助の課題**

家庭における事前の備えの啓発を行います。

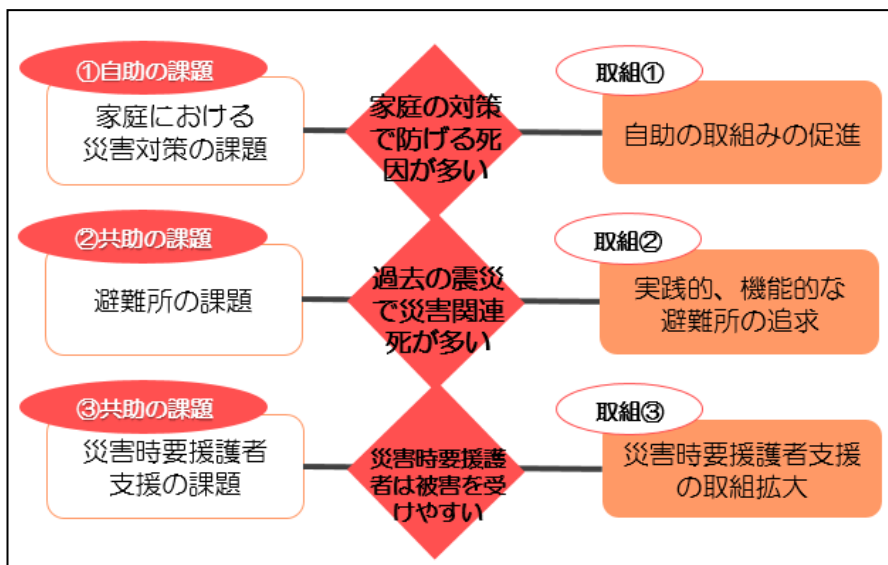
(2) 避難所の課題 **共助の課題①**

災害関連死の防止に向けて、実践的・機能的な避難所を追求するための避難所運営訓練を行います。

(3) 災害時要援護者支援の課題 **共助の課題②**

災害時に要援護者は被害を受けやすい傾向にあることから、災害時要援護者支援の取組拡大を行います。

【参考】課題と取組のイメージ（令和元年度から）



2 課題に対する具体的な取組について

(1) 家庭における災害対策の課題に対する取組 自助の課題

ア 家具転倒防止対策助成事業及び耐震補強の広報（継続）

チラシ（別添）を使用した広報を行います。引き続きご協力をお願いします。

イ 「災害に備える防災ノート（仮）」の作成・配布（新規）

栄区セーフコミュニティアンケート（H30）で「あなたの家では、震災時の災害に対する備えをしていますか」の質問に対して、50%を超えた項目は「携帯ラジオ・懐中電灯の用意」「水の備蓄」「食料の備蓄」の3項目だけでした。自助の取組についての一層の啓発が求められていることから、家庭における自助のヒントを示した「災害に備える防災ノート（仮）」を作成します。つきましては、配布や広報にご協力をお願いします。

「災害に備える防災ノート（仮）」概要

● 内容

家具転倒防止策や必要な備蓄品など、家庭での備えに関するヒントを確認しながら書き込みができるノートを作成します。栄区では、高齢者が多いことから、高齢者が備えるべきポイントも掲載します。

● 規格

A5サイズ、カラー、10ページ程度

● スケジュール

5月～11月：作成、印刷

12月～：配布（拠点訓練での配布、区役所・施設等での配架）

〈参考〉西区作成「もしもに備える防災ノート」

（西区では、特に子育て世帯向けの備えを掲載しています）



(2) 避難所の課題に対する取組：災害関連死の防止に向けた避難所運営 **共助の課題①**

災害関連死（※1）を防止するためには、各避難所が機能的、実践的な運営訓練を行う必要があります。栄区では令和元年度から、全ての地域防災拠点運営訓練に対して、5年計画で項目を指定し、区全体の訓練水準を高める取組を行っています。

計画に基づき、参与と各拠点運営委員で相談し、計画項目を含めたテーマを決めて訓練を行うようお願いします。令和2年度は令和元年度実績に基づき、訓練計画の項目の一部見直しを図りました。改めてご確認をお願いします。

※1…災害による火災・水難・家屋の倒壊など直接的な被害による死ではなく、避難生活の疲労や環境の悪化などによって、病気にかかったり、持病が悪化したりするなどして死亡すること

令和2年度策定訓練計画（令和元年度からの見直し部分は 下線）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
避難者受付・トイレ対策	○				総合訓練
情報受伝達・特設公衆電話・ <u>要援護者対応</u>		○			
区割り・炊き出し			○		
学校、企業等との連携・ <u>夜間訓練</u>				○	

※○がついた項目は訓練必須項目とし、その他は各拠点必要に応じた訓練を実施

- 令和 元年度 避難者受付、トイレ対策
- 令和 2年度 情報受伝達、特設公衆電話、要援護者対応
- 令和 3年度 区割り、炊き出し
- 令和 4年度 学校・企業等との連携・夜間訓練
- 令和 5年度 総合訓練の実施

(3) 災害時要援護者支援の課題に向けた取組 **共助の課題②**

みんなにやさしい避難所運営、災害関連死を防ぐ観点から、地域防災拠点の校舎内に災害時要援護者（高齢者、障害者、乳幼児・妊産婦など）用の別教室を概ね3教室確保することが望ましいとされています。昨年度に引き続き、栄区内小中学校長に対して、概ね3教室を確保できるように依頼します。併せて別教室を活用した訓練を積極的に行うこととします。

〈参考〉

栄区の災害関連死による死者想定…約 116 人

※熊本地震における直接死と災害関連死の比率から災害安全対策分科会事務局で推計（直接死による死者数：災害関連死による死者数＝27:73に基づき、栄区の直接死による死者想定 43 人で計算）

総務課防災担当
担当：山口、御所脇、中山
電話：045-894-8311
FAX：045-895-2260
E-MAIL：sa-bosai@city.yokohama.jp